

2018年（平成30年）度事業報告

I. 私たちの要望

大家連では以下の内容を骨子とした「平成30年度大阪府・市への要望書」を提出した。

1. 重点課題「障害者間格差の解消」

① 重度障害者の医療費助成

昨年4月から、精神保健福祉手帳1級所持者を対象に加えることとなる多数を占める手帳2級所持者も対象とすることを要望

② 公共交通機関の運賃割引

精神障害者への公共交通機関の運賃割引、大阪・高槻市（公営）交通等以外は未実施。西日本鉄道（西鉄）が、2017年4月から精神障害者の運賃割引を開始、航空業界でも昨年から割引を開始

2. 精神科医療

- ① 受診につながるまで保健所・保健センターは、責任ある介入支援を要望
- ② 多職種による訪問型医療制度（アウトリーチ）の早期実現を要望
- ③ 精神疾患の相談、訪問業務の強化を要望
- ④ 抗精神病薬大量服薬による「昏睡状態」を3次救急システムによる医療処置を要望
- ⑤ 精神科特例の実質的廃止を国に働きかけることを要望
- ⑥ 市立病院等への精神科の設置を要望

2. 地域生活の充実、地域移行に向けて

- ① 地域生活支援センター、グループホーム、など整備の考え方
- ② 府営住宅にグループホームを開設できるよう精神障害者の入居枠の確保を要望
- ③ 精神障害者の地域生活で、本人ニーズに合ったサービスの提供
- ④ 24時間対応の生活支援を重点とした「包括型地域生活支援プログラム」制度化を要望

4. 家族支援

- ① 家族が病気になったり休養を要する時など、利用できるショートステイを要望
- ② 保健所等に、家族会を社会的資源として積極的な紹介を要望

5. 教育

- ① 教職員への教育における、家族の体験談の実施を要望

- ② 中学生、高校生段階から「こころの健康」についての教育を要望
- ③ 不登校、引きこもりの生徒への学校としての責任ある対応を要望
- ④ 相模原市、寝屋川市、三田市における事件などを受けて、障害者への差別意識と優生思想に基づく歴史的事例への理解を深めるための教育を要望

6. 雇 用

精神障害者の雇用を大阪府や公的機関において、具体的に実施されるよう要望

Ⅱ. 取組み

1 要望書を大阪府・市へ提出

上記内容を8月31日、大阪府知事、大阪市長へ提出

2. 大阪府・市との意見交換会

① 大阪府

11月30日、大家連・家族会から22名、大阪府各課13名。

大家連の要望事項と大阪府の回答を府のホームページで公開

② 大阪市

1月31日、大家連・家族会から22名、大阪市各課20名。

大家連の要望事項と大阪市の回答を市のホームページで公開

3. 重度障害者の医療費助成への取組み

精神保健福祉手帳1級所持者以外についても、実態把握を実施し適用拡大を目指す

精神障害者の生活の実態と医療費負担についてアンケートを実施(12月～3月)

4. 寝屋川事件への取組み

①事件発生(2017.12.26)直後が多かったが、NHK、毎日新聞、日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞から取材申し込みに対し、複数の理事が対応

「精神障害者や家族の実態が、少しでも社会に理解されるように」との思いを語る

②大阪府障がい者施策推進協議会において寝屋川事件への府の取組みの説明を求める

府は、障害福祉、教育、医療の各部門の取り組みを説明

Ⅲ. 全国組織との連携など

各組織において、共通の課題に向かって取り組んだ。

1. みんなねっと

①「全国大会」と重要課題について学ぶ「みんなねっとフォーラム」を毎年開催

・11月25、26日神戸市で「みんなねっと兵庫大会」を開催、延べ2,500名参加

基調講演「精神疾患を理解するための教育の必要性について」

講師：愛知県立大学准教授山田浩雅氏

特別講演「心の病とはなにか～物質と物質でないもの～」

講師：東京都医学総合研究所病院等連携研究センターセンター長 糸川昌成氏

・3月1日東京で重要テーマについて学ぶ「みんなねっとフォーラム2018」を開催

テーマ：「精神障害者が安心して暮らせる地域づくりを共に～新しいうごき～」

講演「ベルギーの精神科医療改革から何を学ぶか」

講師：元東京都立多摩精神保健福祉センター所長 伊勢田堯氏

②全国組織として、「交通運賃の割引」実現を目指し、「交通運賃プロジェクト」で取組

2. 近畿ブロック

①近畿2府4県の会長による「近畿ブロック代表者会議」を定例的に開催
各府県連の経験、取組み（議会への働きかけ、交通費の減免の活動など）を共有化

②毎年開催の「近畿ブロック研修会」は「兵庫大会」により実施

3. 大阪障害フォーラム（ODF）

府下28団体で構成、共通の課題について取組み

①大阪府との意見交換会（2回開催）

大家連からは、医療費問題、精神障害者の地域生活等について要望

②医療費に係るアンケートを大家連と共同で実施

③「優生保護法の下での強制不妊手術問題」についての学習会を実施

講師：辻川圭乃弁護士

IV 公益事業

1. 精神保健福祉講座事業（大阪府精神障がい者社会参加支援事業

今年度は、グループホーム検討会を含め11回開催しました。

2018年度（平成30年度）精神障がい者社会参加支援事業精神保健福祉講座

実施日時	テーマ	講師 所属	場所	参加者
6月2日（土） 13：30～	精神医療・最新の診断 と治療の考え方	新阿武山病院 精神科医 菊山裕貴氏	アネックスパル法円坂 7階 なにわのみやホール	163
7月28（土） 13：30～	地域でくらす試行錯誤 ～住まいをめぐって	コーディネーター 日本福祉大学 青木聖久氏	アネックスパル法円坂 6階12号室	73
8月19日（日） 13：30～	お薬相談	大阪府薬剤師会 薬剤師6名	アネックスパル法円坂 6階11・12号室	67
9月22日（土） 13：30～	精神保健福祉法の改正 を考える	池原毅和弁護士	アネックスパル法円坂 6階12号	61
10月7日（日） 13：30～	介護をする介護者の支 援の必要性	日本福祉大学 湯原悦子氏	アネックスパル法円坂 6階12号	67
11月4日（日） 13：30～	精神障害者と家族 それぞれの自立	精神科医 白石弘巳氏	エルおおさか 6階大会議室	128
11月19日（月） 13：30～	「夜明け前」呉秀三と 無名の精神障害者100 年、映画と上映と講演	監督 今井友樹氏	アネックスパル法円坂 7階 なにわのみやホール	133
12月1日（土） 13：30～	地域における丸ごとの 相談と支援	豊中市社協地域福 祉推進室長 勝部麗子氏	アネックスパル法円坂 6階12号	57
1月12日（土） 13：30～	女医さんが語る精神科 受診の案内	精神保健指定医 安田由華氏	アネックスパル法円坂 6階12号	73
12月7日（金） 13：30～	第1回グループホーム 検討会、グループホー ムに関わる制度、運営 について学ぶ	高橋邇氏 慶元裕樹氏	アネックスパル法円坂 6階11号	17
2月7日（木） 13：30～	第2回グループホーム 検討会 グループホームづくり の基礎	高橋邇氏 慶元裕樹氏 新銀輝子氏 城戸誠一氏 石山潤氏 秋吉真理氏 斉藤勇氏	アネックスパル法円坂 3階多目的室	23

虐待	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
その他	28	33	51	41	26	30	39	31	19	13	18	41	370	420
合計	108	109	127	111	110	116	125	104	78	103	117	170	1378	1197

(1) 電話相談の特徴

当事者からの相談が半数を超えた、特に季節の変わり目で不安定になる時期、話相手を求めて一日に何回もかけてくる当事者もいる。

(2) 電話相談ケース会議

10名の相談員と理事7名で、傾聴共感を旨として電話相談活動をしている。顧問の遠塚谷富美子氏を交え、月一回ケース会議を開き、困難事例の対応についての検討、情報の共有、社会資源、福祉サービス、障害年金、制度等について学習している。電話相談を通じて孤立しがちな家族や当事者をつなぎ、社会資源・各地域の家族会・賛助会員制度の紹介をし、家族会員の拡大にもつながっている。

(3) 家族相談研修会

日本財団の助成を受け、2018年12月8日に「精神障害者家族間の支援者(ピアサポート)の養成研修会」を開催した。梅花女子大学心理こども学部心理学教授瀧本優子氏による「相談対応の基本姿勢～傾聴・共感を学ぶ」として相談対応の基礎知識・家族支援について・家族のリカバリー・相談支援の原則を学び、家族相談をグループワークによる演習で学習した。(参加者26名)

3. 家族交流事業

(1) 代表者会議を2回開催、地域家族会との意見交換・交流を深めた

(2) 配偶者・パートナーの集い

奇数月の第2日曜に開催、5月13日(10名)・7月8日(8名)・9月9日(7名)・11月11日(9名)・1月13日(8名)・3月10日(10名)の延52名、毎回新しい方の参加があり、話することができる場を求めています。

(3) おしゃべりカフェ

偶数月の第2日曜に開催、4月8日(13名)・6月10日(11名)・8月12日(14名)・10月14日(10名)・12月9日(14名)・2月10日(8名)の延70名の参加、毎回話が弾み予定時間をオーバーして、交流しています。

(4) 圏域家族交流

圏域	担当	テーマ	開催日	会場	参加人数
----	----	-----	-----	----	------

大阪市内	木村 大野	大阪市との意見 交換会にむけて	12 月 23 日	大家連事務所	7 名
北摂ブロッ ク	奥野	これまでに、私が 学んで感動した こと、そして実践 していること	1 月 20 日	高槻市立ゆうあい センター	30 名
豊能ブロッ ク	角口	家族は当事者本 人とどう付き合 うか	1 月 29 日	箕面市立障害者福 祉センター ささ ゆり園	48 名
南河内ブロ ック	山本 (松 永)	精 神 障 が い 者 家族の防災を考 えよう	2 月 3 日	松原市 ゆめにテ ィープラザ	29 名
北河内ブロ ック	奥村	精神障がい者の ある方の地域生 活支援	2 月 9 日	寝屋川市保健福祉 センター	33 名
堺、泉州 ブロック	藪地	大家連の実情 三田市監禁事件 他	3 月 23 日	堺総合福祉会館	34 名

地域と家族会共催の映画会と交流会

圏域	担当	テーマ	開催日	会場	参 加 人 数
東大阪八尾 ブロック	山本	映画「夜明け前」 の上映と「精神医 療と地域支援を 考える	1 月 28 日	東大阪生協病院	85 名

4. 啓発事業

(1) だいかれん誌の発行

平成 30 年度は編集委員と理事の 7 名で年 4 回 4500 部発行しました。公益社団法人として、公益を重視し、多くの市民に読んで頂きたいと思っています。記事は取材をしっかりとできるだけ現場の声を伝えたいと努力しました。今年度の「だいかれん誌」は大家連の持出金と平成 30 年度共同募金配分金 57 万円を受けて実施することができました。共同募金にご協力くださいました皆様に感謝いたします。

(2) ホームページの活用

講座案内・お知らせ・電話相談など、ホームページを見て講座やおしゃべ

りカフェ、配偶者・パートナーの集いへの参加もあり、大家連活動の広がりも期待できるので、パソコンを出来る当事者の協力を得て、ホームページの更新に努めてきました。

V、各種委員会への参画

大阪府、大阪市等の要請により、障害当事者の家族という立場で各種の委員会に参加した、障害者と家族の実態についての理解の促進と要望等が施策に反映されるように努める。

【大阪府、大阪市等審議会への委員派遣】

大阪府障がい者施策推進協議会	(倉町)
大阪府障がい者差別解消協議会	(倉町)
大阪府精神保健福祉審議会精神科救急医療運営部会	(大野)
大阪府障がい者自立支援協議会地域支援推進協議会	
精神障がい者地域移行ワーキンググループ	(角口)
大阪府障がい者介護給付費等不服審査会	(木村)
大阪府障がい者スポーツ振興評議委員会	(奥野)
大阪府精神科医療機関療養環境検討協議会	(大野)
大阪府健康おおさか21	(山本美世子)
大阪府後見支援制度運営委員会	(奥村)
大阪府後見支援センター運営委員会	(奥村)
大阪府障がい児者虐待防止支援専門委員会	(角口)
大阪府ふれあいキャンペーン実行委員会	(倉町・藪地)
大阪市障がい者施策推進協議会計画策定部会	(木村)
大阪市精神保健福祉審議会	(倉町)
大阪市地域リハビリテーション協議会運営委員会	(木村)
大阪市障害者・高齢者虐待防止連絡会議	(大野)
大阪市あんしんサポート運営委員会	(木村)

【参考】関連団体活動への参加

国際障害者交流センター	(倉町)
(社福) 大阪府社会福祉協議会障害者福祉部会	(倉町)
(社福) 大阪府社会福祉協議会運営適正化委員会	(中井)
(社福) 大阪障害者自立支援協会	(倉町)
大阪市地域福祉活動推進委員会	(大野)
障害者憲法9条、25条を守る会	(倉町)
大阪障害フォーラム(ODF)	(倉町)
全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)、近畿ブロック	(倉町・木村)